



【座光寺麻績(神社)の竹宵】

目次

●年頭所感	2	●検査の窓	7
●阿部長野県知事が来院	3	病理組織検査とは	
●ねっとわーく		●産婦人科の診療(出産予約)	
富草へき地診療所	4	についてのお願い	7
新野診療所	5	●お知らせ	8
●話題の広場	4~5	保険証の確認について	
市立病院の充実に活用を		●職場紹介	8
接遇研修会が開催されました		臨床検査科 その②(生理機能検査室)	
●がんの診療連携と地域連携		●新任医師の紹介	8
クリティカルパスについて	6		

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- 2 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、地域の皆さんに開かれた病院づくりを行います
- 3 私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意をもって医療を実践します

# 年頭所感 2011年



飯田市立病院 院長 千賀 脩

2011年の新春を迎えるにあたりまして、皆様に謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は、2月にチリでM8.8の地震が発生し、約800名の死者を出す大惨事が起きたり、11月には北朝鮮が韓国の延坪島を攻撃し、民間人を含む死傷者が出るなど、世界的に大きな衝撃がありました。

一方、日本の政治の世界では8月の参議院選挙で自由民主党が圧勝し、ねじれ国会となったり、9月に尖閣諸島沖で起きた中国漁船と日本の警備船衝突事件の対応における批判的な世論から、民主党の支持率が著しく低下しました。そのような中で行われた事業仕分けでは、一昨年ほどの効果はでず、政権交代であるはずだった新しい風は期待薄の状況であります。

また、昨年は記録的な猛暑の連続で熱中症にかかる人が続出し、暑さ対策の支出や野菜の高騰、熊などが人里に出没するなど生態系にまで大きな影響を及ぼしました。昨年の世相を表す漢字はこの「暑」が、流行語大賞では「ゲゲゲの～」が選ばれたことは記憶に新しいところであります。

そんな中、スポーツの世界では明るい話題が多くありました。大相撲の横綱白鵬が62連勝まで延ばしました。稀勢の里に敗れてしまい69連勝した双葉山は抜けませんでした。1敗のみで優勝し、今後も再度の連戦連勝の期待が感じられます。野球に関しては、大リーグのマリナーズに所属するイチロー選手が、前人未踏の10年連続200本安打の大記録を達成しましたし、6月に南アフリカで開催されたサッカーワールドカップにおいて、日本は予選リーグで強豪のカメルーン、オランダ、デンマークと対戦し、ベスト16に進出することができました。決勝リーグでは南米パラグアイに敗れましたが、大方の予想を覆す活躍は日本に勇気と希望を与えてくれました。

さて、新年にあたり昨年を振り返りながら今年の病院事業の方針を述べ、年頭の所感とさせていただきます。

3年前より公立病院改革プランを作成し、自治体病院にとって課題である地域医療の充実と健全経営を目標に取り組んでまいりました。その成果として、

21年度はDPC（診断群分類包括評価制度）や看護配置基準7対1の導入が順調に経過し、入院・外来ともに前年度と比較して患者数が増加するなど、経常収支で黒字となりました。22年度は更に経営状況も良くなっています。

全国的には、医療スタッフ、特に医師・看護師不足による地域医療の崩壊が相変わらず社会問題となっていますが、当院では医師の増加を始め、看護師における離職率の低下も見受けられます。特に、一番の問題でありました眼科の体制においては22年から常勤医師2名の着任により順調に経過しておりますし、今年は心臓血管外科において常勤医師が2名体制となる予定であります。また、産科体制においては、今年の3月より1診療所での分娩が中止となるため、当院で取り扱う分娩数の増加に対応し、分娩室や産婦人科の外来診療室の増設工事を行い、多くの分娩に対応できる体制を整えます。

施設面においては、高松分院跡地に建設整備をしてきました介護老人保健施設ゆうゆうと高松診療所が昨年5月末に開所したことで、市立病院と更に連携し高齢者の在宅復帰に向けて取り組みます。また、現病棟の南側と北側に病棟を増設し、救命救急センターの充実やがん診療、周産期センター関連の整備を図る第3次整備計画も2年後の完成を目標に推進します。

現在、中南信地区ヘドクターヘリを配備する検討がされていますが、当圏域の道路事情や、信大までの時間を考慮すると、是非当院に配備したいと考えており、積極的に誘致してまいります。

ハード面での充実だけでなく、人材なども含めたソフト面での充実を図り、長野県1の病院を目指して職員一丸となってがんばりたいと思います。

最後になりましたが、地域に信頼される病院を目指して更にごんばってまいりたいと考えておりますが、関係各位の皆様の深いご理解と、更なる支援を宜しくお願い申し上げます。本年が皆様にとって希望に満ちた明るい年となるように心から祈念して新年のご挨拶といたします。

# 阿部長野県知事が来院しました。

長野県では、阿部守一知事の公約でもある県内2機目のドクターヘリを中南信地区に配備しようと、専門の委員会を設け検討を進めています。救命救急センター設置の5病院に伊那中央病院を加えた6病院を候補とし、23年度中に配備する方針です。

当院としては、当地域におけるドクターヘリの有効性から当院への配備を目指して取り組んでいます。



現在の高規格ヘリポート



高規格ヘリポート、第3次整備事業予定地などを視察



神頭救命救急センター長の説明

どの病院に配備するか、県が設置した委員会で検討している最中の11月15日に阿部知事が当院を訪問されました。知事は、第3次整備事業で建設する救命救急センターの予定地や現在のヘリポートを視察し、地域医療を守るために当院が果たしている役割や課題について、千賀院長をはじめ当院の職員と意見交換しました。

約30分の訪問でありましたが、当院の状況について理解いただいたものと思います。また、知事に対し、南信州広域連合や飯伊包括医療協議会、飯田医師会の連名でドクターヘリ配備の要望書を渡しています。

当院へドクターヘリを配備することの必要性和有効性について以下のとおり説明しました。

- ① 当院が医療圏の中核病院として必要な医療を守るために取り組んでいる。
- ② 救急医療については、中山間地が多く、長時間の救急搬送がかかる。
- ③ 信州大学付属病院など県の高機能病院まで搬送がかかる。
- ④ ドクターヘリの要請件数や実際の出動件数が多い。





## 富草へき地診療所

(阿南町富草)



### 診療所が在る

富草へき地診療所 所長 金 秀成

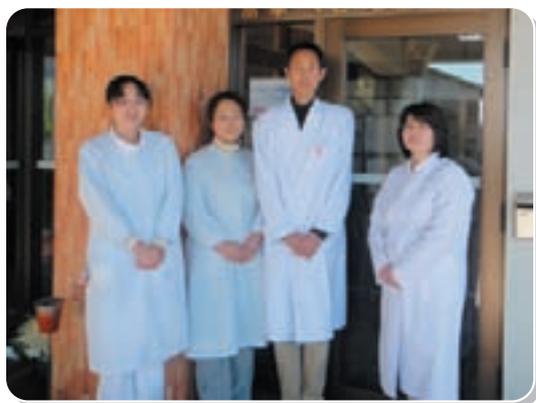
富草僻地診療所は、阿南町運営の診療所として、昭和43年に開設されました。人口約1500人の富草地区の医療機関としての役割を果たしています。当地区は、戦前に一時、診療所がありましたが、戦後、当診療所が開設されるまでは、無医地区だったそうです。その間は、県立阿南病院や下條村の中島医院にて、必要な医療を受けていました。今とは比較にならない交通事情のもと、少々のご不便は我慢されていたことと推察します。地区の念願が叶い、昭和43年に開設されましたが、しばらくは、韓国の医師が交代で診療に携わり、

昭和50年代に前任の金子医師が、阿南町和合僻地診療所との兼任という形で、週3回の診療を行っておりました。金子医師の定年後、平成12年より金医師が引き継ぎ、形を変えながら、現在は月曜日から金曜日までの午前中に診療しております。

一般内科を中心に、簡単な外傷の処置、整形的な疾患、小児科など、いわゆる一次医療を行い、検査やより専門の医療、入院医療が必要な場合は適時、市立病院、阿南病院等の近隣の病院に紹介

しています。

診療所が当地区に在り続けること、地域が元気になること、医療が人々の害にならないことを心がけています。



金先生(右から2番目)とスタッフの皆様

所在地 〒399-1505 下伊那郡阿南町富草4216番地

☎0260-22-2512

診療科目 内科

診療時間 9時00分～11時30分

往診 可(木曜日午後)

休診 土曜日、日曜日、祝日

駐車場 あり



### 市立病院の充実に活用を

#### ●飯田市松尾 故 高田実様のご遺族より1,000万円

高田様は半世紀余りにわたり、市や日赤奉仕団などに寄付を続けられており、生前より「医療の役に立ちたい」と話されていたそうです。

#### ●飯田市上郷 井坪麻子様より介護機器

施設にお世話になった感謝の気持ちを込めて、ゆうゆう・高松診療所へ車椅子5台と体重計のご寄付を頂きました。

今後の病院充実に活用させていただきます。



車椅子と体重計をご寄付頂きました

## 登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行なって、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

## 新野診療所

(阿南町新野)



## 祭りの里の地域医療を守る

新野診療所 所長 原 政博

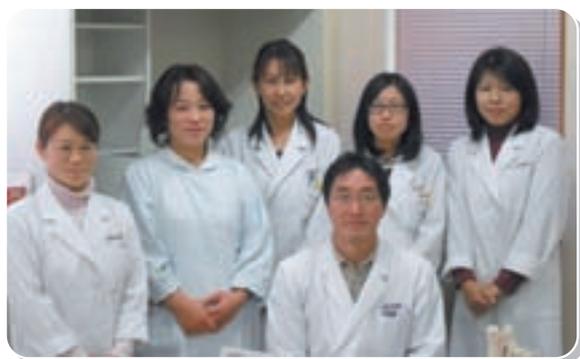
阿南町新野地区は、縦貫する国道151号線が「祭り街道」と愛称されるが如く、国指定重要無形文化財である「新野の雪祭り」、「新野の盆踊り」など多くの伝統芸能が残る祭りの里です。

例年1月15日に行われる「新野の雪祭り」の本祭りには、当地区を支える多くの方々が参列し新年の五穀豊穡と平穏無事を祈ります。私事では、平成14年9月に信州大学付属病院糖尿病・内分泌代謝科助手を辞し、同年10月に新野診療所を開院してから、私も地域医療の守護神として招待されます。

当院の守備範囲は新野地区・

天龍村神原地区・愛知県豊根村三沢地区などの人口約2000人弱。自分の専門領域以外の多様な疾患が来院し、「遠くへは行けないから、ここで診てくれ」と懇願されます。地域性から高齢の患者さんが多く、急変・重症化が危惧されるケースも少なくはなく、高次医療機関との連携が大切です。飯田市立病院との連携の例では、急性心筋梗塞は言うまでもなく急性大動脈解離や腹部大動脈瘤切迫破裂などもあ

りますが、今では皆さん社会復帰されています。地域医療に救急は付き物であり、飯田市立病院とは今後も良き救急医療のパートナーとして切磋琢磨していきたいと思えます。



原先生(前列)とスタッフの皆様

所在地	〒399-1612 下伊那郡阿南町新野1222番地 ☎0260-24-3022
診療科目	内科・外科・小児科
受付時間	9時00分～12時30分【月～金】 15時00分～17時30分【月、火、木、金】
往診	可
休診	土曜日、日曜日、祝日
駐車場	あり



## 接遇研修会が開催されました

12月1日、2日

医療サービス委員会主催の接遇研修会が開催されました。「接遇基礎からクレーム対応まで」をテーマに、(株)C-plan代表の佐藤美智子氏を講師に迎え、院内における実際の事例を基に接遇向上に向けて知識を深めました。

事前に院内の各部署より寄せられた接遇に関する悩みや相談、現場での改善点などについて300人が学びました。



# がんの医療連携と 地域連携クリティカルパス ー第2回ー

市立病院ニュース夏号No.38では、がんの地域連携パスの概要をお知らせしました。  
今回は、「クリティカルパス」と「地域連携」についてもう少し説明します。

## ●クリティカルパスとは

クリティカルは医学の、パスはパスウェイの略で行程、経路などと訳します。つまり、適切な医療を行なうための医療行程表といったところでしょうか。もっと身近な例で説明しますと、旅行会社において旅行を計画すると必ず旅程表が渡されます。この旅程表にあたるのがクリティカルパスです。クリティカルパスは、患者さんが、がん治療において、入院中に受ける手術、検査、退院後の治療までを含めた長期的な治療計画を詳しく説明したものとなっています。

## ●地域連携パスとは

地域連携パスとは、地域のかかりつけ医と手術を行なった地域がん診療連携拠点病院の医師が、患者さんの治療計画、経過を共有し、地域内で統一した治療方針により、治療を行うためのクリティカルパス（共同診療計画表）のことです。

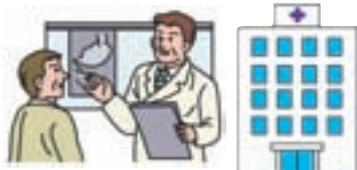
「地域連携パス」を活用することで、

- ◎かかりつけ医と地域がん診療連携拠点病院が協力して、がん患者さんの治療を行ないます。
- ◎従来の病院完結型で医師まかせの医療ではなく、患者さんも主体的に治療に参加し安心して質の高い医療を地域一体となって提供する体制を構築することを目指しています。
- ◎患者さんは、「医療連携手帳」を携行することで、ご自身の治療計画、現在の状況をいつでも確認できます。手帳には体調面の自己チェックシートがついていますので、受診の際に、自己チェックした内容を主治医に確認してもらうことができます。
- ◎患者さんは、長い待ち時間や通院時間の短縮による負担軽減につながります。

このように、かかりつけ医と地域がん診療連携拠点病院が協力し、患者さんご自身の治療計画や経過の把握をします。また、かかりつけ医の手厚い診療を受けることができるので、不安の解消といったメリットにつながります。

## がん地域連携パス 運用の流れ

連携医療機関  
(かかりつけ医)



連携パスに基づき定期検査と治療を実施。  
結果を飯田市立病院に情報提供する。  
パスに指定された時期に飯田市立病院へ紹介。

飯田市立病院  
(がん診療連携拠点病院)



- ・がん治療方針の決定
- ・連携パス開始手続

飯田市立病院は手術等の急性期医療を実施。  
退院後のフォローを連携医療機関へ依頼。  
数ヶ月～1年ごとに診療と検査を実施。  
結果を連携医療機関へ報告。



患者さん

患者用パス（医療連携手帳）及び  
関連書類を持って、飯田市立病院  
と連携医療機関を定期的に受診

## 検査の窓

その18

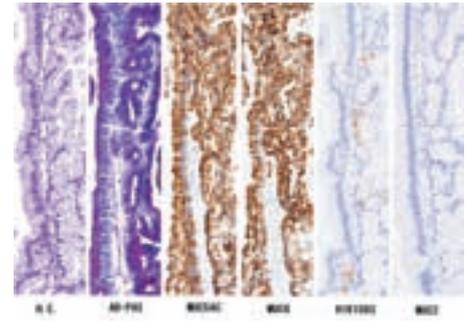
病理組織検査とは、病変部の組織片を採取して調べ、病気を診断する検査で、特にがんの最終的な確定診断のために重要な検査です。病変が腫瘍なのか腫瘍でないのか、良性か悪性か、悪性ならその性質（悪性度）などが分かります。これらを検討して、診断の確定と治療方針の決定がなされます。各臓器の組織は、それぞれ特有の細胞によって構成されていますが、がんが生じると、がん特有の変化が現れるのです。



組織を薄くスライスしています

## 病理組織検査とは？

採取された組織片は、ホルマリンで固定という操作をして、パラフィンに埋め込み、それを薄くスライスして、目的に応じて様々な染色を施して標本を作製し、病理医が顕微鏡で観察します。



様々な染色をしています

## 産婦人科の診療（出産予約）についてお願い

平成23年2月末をもって、羽場医院が分娩の取り扱いを止めることになりました。

このため、平成23年3月以降の分娩を取り扱う医療機関は、飯田市立病院と椎名レディースクリニックの2か所になります。

そこで、当院では、取り扱う分娩件数の増加に対応するため、分娩室や産婦人科の外来診察室の増設工事を行い、なるべく多くの分娩に対応できる体制を整えます。改修工事の期間中については、ご迷惑をおかけしますがご理解くださるようお願いいたします。

妊婦検診及び婦人科の診療につきましては、平岩ウイメンズクリニック、椎名レディースクリニック、西澤病院（木曜のみ）、下伊那赤十字病院、並びに3月から外来診療に特化する羽場医院で受診くださるようお願いいたします。

なお、分娩件数の多い月には当院の受入を制限せざるを得ないこともあり、平成23年3月以降の当院における出産と予約の取り扱いについては、次のとおりとさせていただきますのでご理解とご協力をお願いします。

- 1 市立病院で取り扱う出産予約件数は、1ヶ月あたり90件程度とします。
- 2 飯田・下伊那地域に居住している方の出産は、従来どおり原則として全て受け入れます。さらに、里帰り出産についても受け入れますが、受付件数によっては制限させていただきます。
- 3 飯田・下伊那地域に居住している方で市立病院での出産を希望される方は、妊婦初診を市立病院の連携産科医療機関（平岩ウイメンズクリニック・椎名レディースクリニック・羽場医院・下伊那赤十字病院・西澤病院）でお受けになり紹介状を書いていただいた後に、出産の予約をお取り下さい。
- 4 出産の予約については、12週までに予約をし、（原則として）20週までには少なくとも1回以上受診できる方について、随時受け付けてまいります。

実家が飯田・下伊那地域にある方で市立病院での里帰り出産を希望される方は、妊娠がわかり次第、飯田市立病院へご連絡ください。

今後におきましても、診療体制の充実に向けて取り組んでまいりますので、ご理解をお願いいたします。





## お知らせ

### 患者および家族の皆さんへ

## 保険証の確認について（お願い）

医事課

保険診療は、病院等の窓口で現在加入中の保険証を提示することによって受けられますが、受診の間には保険証が変更になることがあります。保険証の提示がなかったり、期限の切れた保険証をそのまま使用していると給付対象外として患者の皆さんに実費をお支払いいただくことにもなります。

つきましては、以下により保険証の提示をいただきますよう、ご理解とご協力をお願いします。

- ① 初回の診察を受ける方は保険証を、福祉医療等受給資格者証をお持ちの方は両方併せて提示してください。
- ② 保険資格確認のため、毎月1回は窓口受付に保険証、受給資格者証を提示してください。
- ③ 保険証の内容や変更があった時には、速やかに受付窓口提示してください。



### シリーズ ● 職場紹介 ● その27

### 【臨床検査科の紹介 その②(生理機能検査室)】

生理検査は、いろいろな診断機器を使い、直接患者様の体に接して生体情報を取り出し解析する検査です。

生理機能検査室は、1階の70番の通りに位置し、心電図・心エコー・肺機能・ABI・脳波・筋電図などの検査をしています。又、他の場所で、耳鼻科外来で聴力検査、助産師外来で胎児エコー、産科病棟で赤ちゃんの簡易聴力検査を担当しています。

現在、9名の臨床検査技師で

対応しております。認定資格の取得、研修会・講習会への積極的な参加など、医療の進歩に即した最良な検査が提供できるように知識と技術の向上に努めています。

また、患者様に接する事の多い部門なので対話を大切に、患者様がリラックスして検査できる環境作りを心がけています。

検査内容により長時間かかる検査もあり

ます。待ち時間の短縮に努力していますが、ご不明な点は気軽にお声を掛けて下さい。



## あ と が き

昨年は、目の手術のため2回入院をしました。眼科の手術が再開されていなければならぬ他の地域まで行かなければならず、市立病院が担っている役割の重要性を再認識しました。

また、健康が1番だということを再確認した年にもなりました。

今年が全ての人にとって良い年になりますように願っています。

編集委員 宮下忠幸

## 新任医師の紹介

平成22年11月～平成23年1月



乳腺内分泌外科

渡邊 隆之

(わたなべ たかゆき)

平成14年3月卒業

平成23年1月1日着任

前勤務病院

信州大学医学部付属病院